

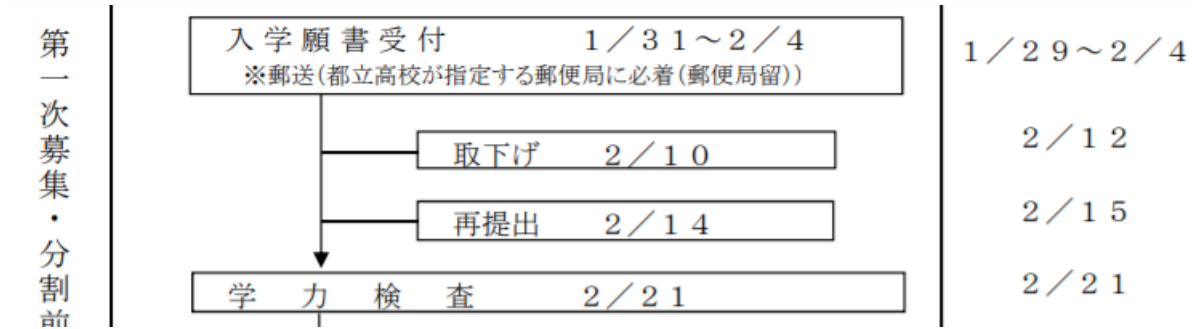
令和 4 年度都立高校入学者選抜実施要綱・細目 9 月 24 日

①日程

赤字は疑問点等、進路研が付記

		入学願書受付日	検査実施日	合格発表日
推薦に基づく選抜		1 月 12 日(水曜日)～ 17 日(月曜日) 郵送(上記期間に、都 立高校が指定する郵 便局に必着)	1 月 26 日(水曜日) 27 日(木曜日) ※原則として 1 日で実 施(26 日)	2 月 2 日(水曜日)
学 力 検 査 に 基 づ く 選 抜	第一次募集及び 分割前期募集	1 月 31 日(月曜日)～ 2 月 4 日(金曜日) 郵送(上記期間に、都 立高校が指定する郵 便局に必着)	2 月 21 日(月曜日)	3 月 1 日(火曜日)
	分割後期募集及び全日制 第二次募集(インフルエン ザ等追検査)	3 月 4 日(金曜日)	3 月 9 日(水曜日)	3 月 15 日(火曜日)
	定時制第二次募集	3 月 22 日(火曜日)	3 月 25 日(金曜日)	3 月 28 日(月曜日)

★取下げ再提出 取下げ日が 2 月 10 日(～午後3時)で私立の試験日と重なる。代理人が取下げる(昨年度の取下げ数は約 2700 件)ことを許す場合、出願者との関係を証明するには？私立の結果を見ての変更は全く出来なくなったが…。



関連資料① 「令和4年度都立高等学校入学者選抜事務の流れ」

②主な変更点（次頁以下に詳細）

項目	内容
(1)出願手続(入学願書等提出方法)	●推薦に基づく選抜及び第一次募集・分割前期募集(チャレンジスクール及び定時制課程単位制の選抜を含む。)において、入学願書は原則として中学校が取りまとめ郵送により提出することとしていたが、志願者が郵送により提出する方法に変更する。 ●インターネットを活用した出願を、1校から20校に拡大して試行実施する。
(2)推薦に基づく選抜	●推薦に基づく選抜として、新たに「理数等特別推薦」を設け、実施する。 理数等特別推薦では、科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜を行う。 ※ 令和4年度入学選抜では、立川高等学校創造理数科において実施 ●農業に関する学科、商業に関する学科及び産業科において、推薦に基づく選抜の対象人員枠を、募集人員の40%以内(従前は30%以内)に変更する。
(3)海外帰国生徒等対象の選抜	●応募資格に関し、これまでは、保護者が父母である場合は父母の双方に伴って海外に一定期間在住したことを要件としていたが、これを改め、原則として父母のどちらか一方でもよいこととする。

③実施要綱

[東京都立高等学校入学者選抜実施要綱](#) PDF [2.4MB] [東京都立国際高等学校国際バ](#)

[カトレアコース入学者選抜実施要綱](#) PDF [300.5KB] [海外帰国生徒等入学者選抜実施要綱](#) PDF [554.2KB] [東](#)

[京都立高等学校チャレンジスクール入学者選抜実施要綱](#) PDF [420.8KB] [東京都立高等学校定時制課程単](#)

[位制入学者選抜実施要綱](#) PDF [486.6KB]

新設の小台橋高校（チャレンジスクール）の入学者選抜方法の概要

- (1) 男女合同定員制 (2) 面接と作文により検査を実施する。学力検査は実施せず、調査書の提出も要しない。(3) 自己PRカードに代えて、学校所定の志願申告書を提出する。

令和４年度東京都立高等学校入学者選抜における主な変更点等について

(未公開資料；令和４年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱より)

1 令和４年度入学者選抜における主な変更点

事 項	内 容
(1) 出願手続 (入学願書等提出方法) 【要綱】 第 1-5-2-2 4 ページ 第 2-5-2-2 13 ページ 第 9-1 39 ページ 東京都立高等学校チャレンジ スクール入学者選抜実施要綱 第 1-5-2-2 64 ページ 東京都立高等学校定時制課程 単位制入学者選抜実施要綱 第 1-5 69 ページ 第 2-5-2-2 71 ページ	推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集における、入学願書等の郵送出願の方法を以下のとおりに変更する。 ・ 入学願書等 志願者が個人で郵送により提出する。 ・ 調 査 書 中学校等が都立高校に郵送により提出する。 なお、以下の 20 校において、インターネットを活用した出願等を実施する。三田、小山台 (全・定)、駒場、目黒、雪谷、豊島 (全)、練馬、足立 (全・定)、足立西、江戸川 (全・定)、小松川、松が谷、立川 (全・定)、福生 (全)、清瀬、五日市 (全・定)、工芸 (全)、第五商業 (全)、晴海総合、若葉総合 ※全日制と定時制を設置する都立高校のうち、(全)は全日制のみ、(定)は定時制のみ、(全・定)は全日制と定時制の双方で実施する。
(2) 理数等特別推薦 【要綱】 第 1-3 1 ページ 第 1-4 2 ページ 第 1-5 3 ページ 第 1-6 4 ページ 第 1-7 5 ページ	推薦に基づく選抜に、一般推薦、文化スポーツ等特別推薦に加え、新たに「理数等特別推薦」を設ける。 理数等特別推薦では、科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜を行う。 令和４年度入学者選抜では、立川高校 (創造理数科) において実施する。
(3) 海外帰国生徒等の応募資格 海外帰国生徒等入学者選抜 実施要綱 I-第 1-3 51 ページ III-第 1-3 59 ページ	海外帰国生徒対象の応募資格について保護者が父母である場合、これまでは父母の双方に伴って海外に在住していたことを要件としていたが、これを改め、父母のどちらか一方に伴った海外在住でもよいこととする (ただし、本人と同居していない父又は母が海外又は都内に在住している場合に限る。)。海外帰国生徒対象の 4 月募集及び在京外国人生徒対象の 4 月募集において、保護者と同居していない場合でも、都内中学校に在籍する者に限っては、第一次募集と同様の条件を満たせば応募資格を認めることとした。
(4) インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する措置 【要綱】 第 6-3 31, 35, 38 ページ	インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する追検査の対象に、検査当日 37 度以上の発熱があった者も含めることを明記した。また、インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する追検査の検査会場は、各高校とした。なお、追検査を受検できなかった者に対する追々検査について規定を設けた。
(5) 各様式の性別欄の廃止 【要綱】 様式 24 305～312 ページ	志願者が作成する書類における、性別欄は、原則廃止とした。ただし、入学願書については性別欄を残し、記入は任意とした。
(6) 性同一性障害等の受検者の取扱い 【要綱】 第 6-7 33 ページ	性同一性障害等の理由により、戸籍上の性別とは別の性で受検を希望する者に対する取扱いについて新たに規定を設け、当該生徒が在学する中学校を所管する区市町村教育委員会等と都教育委員会が協議し、個別に決定することとした。
(7) 大島海洋国際高校の出願、志願変更及び検査会場	大島海洋国際高校の入学願書の提出先は、同校又は東京都教職員研修センターのいずれかとしていたが、これを同校のみに変更する。以下略
(8) 観点別学習状況の評価 【要綱】 288～302 ページ	学習指導要領の改訂に伴い、観点別学習状況の評価について、各教科の観点が全 37 観点から全 27 観点に変更となった。

2 継続して実施する選抜方法等（注：下線付の高校は、令和4年度入学者選抜から実施する高校）

事 項	内 容																
(1) 文化・スポーツ等特別推薦の実施 【要綱】 推薦に基づく選抜の目的 1 ページ 別表 5－1 1 3 2 ページ 様式 2 2 7 5 ページ 様式 3 2 7 6 ページ <table><tr><td></td><td>R 4 入選</td><td>R 3 入選</td></tr><tr><td>実施校</td><td>9 2 校</td><td>9 3 校</td></tr></table>		R 4 入選	R 3 入選	実施校	9 2 校	9 3 校	各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。 推薦選抜の対象人員枠内で募集人員枠を設け、文化・スポーツ等特別推薦書、個人面接又は集団面接及び実技検査のほか、小論文又は作文、その他学校が設定する検査を適宜組み合わせ、選考を行う。 【実施校】(9 2 校) ○普 通 科 (5 7 校) 区部：向丘、上野、城東、東、深川、大崎、八潮、目黒、大森、雪谷、千歳丘、深沢、松原、広尾、鷺宮、武蔵丘、杉並、豊島、文京、板橋、高島、石神井、練馬、光丘、足立、足立新田、足立西、淵江、葛飾野、南葛飾、江戸川、葛西南、小岩、篠崎、紅葉川 (3 5 校) 市部：片倉、八王子北、富士森、松が谷、府中、府中西、府中東、小平西、小平南、日野、東村山西、福生、狛江、東大和、東大和南、清瀬、久留米西、武蔵村山、羽村、五日市、田無、保谷 (2 2 校) ○普 通 科 (コース制)：深川 (1 校) ○普 通 科 (エンカレッジスクール)：蒲田、足立東、東村山 (3 校) ○普 通 科 (単位制)：墨田川、美原、飛鳥、板橋有徳、大泉桜、上水 (6 校) ○専門学科：墨田工業、総合工科、杉並工業、荒川工業、府中工業、町田工業、多摩工業、田無工業、六郷工科、芝商業、第四商業、橘、八王子桑志、科学技術、多摩科学技術、大田桜台、千早 (1 7 校) ○総合学科：晴海総合、つばさ総合、世田谷総合、杉並総合、王子総合、青梅総合、町田総合、東久留米総合、若葉総合 (9 校) ※武蔵野北、小平は令和 4 年度は実施しない。										
	R 4 入選	R 3 入選															
実施校	9 2 校	9 3 校															
(2) 学力検査に基づく選抜 【要綱】 第 2－7 1 4 ページ 第 2－10 1 6 ページ 第 3－7 2 1 ページ 第 3－10 2 2 ページ	学力検査に基づく選抜を以下のとおり実施する。 1. 学力検査の教科、学力検査の得点と調査書点の比率について 【全日制課程】 <table><tr><th>募集区分</th><th>学力検査の教科</th><th>学力検査の得点と調査書点の比率</th></tr><tr><td>第一次募集・分割前期募集</td><td>5 教科 (国・数・英・社・理)</td><td>7 : 3</td></tr><tr><td>分割後期募集・第二次募集</td><td>3 教科 (国・数・英)</td><td>6 : 4</td></tr></table> ※各学校は、面接、小論文又は作文、実技検査を実施することができる。 2. 調査書点の算出に当たっては、学力検査を実施する教科の評定は 1 倍、学力検査を実施しない教科の評定は 2 倍とする。 3. 傾斜配点については、設置目的等に応じて特別な教育課程を実施している高校のうち、必要と認められる学校に限定して実施する。 【実施校】(8 校) ○普 通 科 (コース制)：深川、松が谷、小平 (3 校) ○専門学科：国際、科学技術、多摩科学技術、大田桜台、千早 (5 校) 【全日制課程 (芸術科・体育科における第一次募集・分割前期募集)】 <table><tr><th>学科・学校の別</th><th>学力検査の教科等</th><th>学力検査の得点と調査書点の比率</th></tr><tr><td>芸術科 総合芸術高校</td><td rowspan="2">3 教科 (国・数・英) + 実技検査</td><td rowspan="2">6 : 4</td></tr><tr><td>体育科 駒場高校・野津田高校</td></tr></table>	募集区分	学力検査の教科	学力検査の得点と調査書点の比率	第一次募集・分割前期募集	5 教科 (国・数・英・社・理)	7 : 3	分割後期募集・第二次募集	3 教科 (国・数・英)	6 : 4	学科・学校の別	学力検査の教科等	学力検査の得点と調査書点の比率	芸術科 総合芸術高校	3 教科 (国・数・英) + 実技検査	6 : 4	体育科 駒場高校・野津田高校
募集区分	学力検査の教科	学力検査の得点と調査書点の比率															
第一次募集・分割前期募集	5 教科 (国・数・英・社・理)	7 : 3															
分割後期募集・第二次募集	3 教科 (国・数・英)	6 : 4															
学科・学校の別	学力検査の教科等	学力検査の得点と調査書点の比率															
芸術科 総合芸術高校	3 教科 (国・数・英) + 実技検査	6 : 4															
体育科 駒場高校・野津田高校																	

	【定時制課程・昼夜間定時制課程】								
	募集区分	学力検査の教科	学力検査の得点と調査書点の比率						
	第一次募集・分割前期募集	5教科（国・数・英・社・理）の中から3教科以上	7：3又は6：4 （各学校で選択）						
	分割後期募集	3教科（国・数・英）	6：4又は5：5 （各学校で選択）						
	第二次募集	5教科（国・数・英・社・理）の中から3教科以上	6：4又は5：5 （各学校で選択）						
	※全ての募集区分において、原則として面接を実施する。また、各学校は学力検査及び面接に加えて、小論文又は作文、実技検査を実施する。								
(3) 分割募集の実施 【要綱】 別表4 101ページ	一般選抜の募集人員をあらかじめ分割し、第一次募集期間における募集（分割前期募集）と第二次募集期間における募集（分割後期募集）の2回に分けて募集を行う。 【全日制実施校】（21校） ○普通科（18校） 区部：日本橋、八潮、田園調布、深沢、竹台、大山、田柄、青井、足立新田、淵江、南葛飾、蒲田*、足立東*（13校） 市部：府中東、山崎、羽村、東村山*、秋留台*（5校） ○専門学科：中野工業（キャリア技術科）*、練馬工業（キャリア技術科）*、野津田（体育）（3校） 【定時制実施校】（5校） ○一橋、浅草、荻窪、八王子拓真、砂川								
<table><tr><td></td><td>R4入選</td><td>R3入選</td></tr><tr><td>実施校</td><td>26校</td><td>26校</td></tr></table>		R4入選	R3入選	実施校	26校	26校			
	R4入選	R3入選							
実施校	26校	26校							
(4) 全日制一次学力検査問題の自校作成 【要綱】 第2-8(4) 16ページ 別表7 220ページ	第一次募集において、自校で作成した学力検査問題3教科（国語、数学、英語）と、都立高校共通問題2教科（社会、理科）により実施する。 【実施校】（10校） ○普通科（7校） 区部：日比谷、戸山、青山、西（4校） 市部：八王子東、立川、国立（3校） ○普通科（単位制）：新宿、墨田川、国分寺（3校） ※国際高校では、自校で作成した学力検査問題1教科（英語）と、都立高校共通問題4教科（国語、数学、社会、理科）により実施する。								
<table><tr><td></td><td>R4入選</td><td>R3入選</td></tr><tr><td>実施校*</td><td>10校</td><td>10校</td></tr></table> *国際高校を除く。		R4入選	R3入選	実施校*	10校	10校			
	R4入選	R3入選							
実施校*	10校	10校							
(5) 定時制一次学力検査問題の自校作成 【要綱】 第2-8(4) 16ページ 別表7 220ページ	第一次募集・分割前期募集において、自校で作成した学力検査問題3教科（国語、数学、英語）により実施する。 【実施校】（2校） ○普通科：八王子拓真（一般枠）（1校） ○専門学科：農産（1校）								
<table><tr><td></td><td>R4入選</td><td>R3入選</td></tr><tr><td>実施校</td><td>2校</td><td>2校</td></tr></table>		R4入選	R3入選	実施校	2校	2校			
	R4入選	R3入選							
実施校	2校	2校							
(6) 男女別定員制の緩和 【要綱】 第2-10-5-1 17ページ 別表4 101ページ	第一次募集・分割前期募集において、男女別の募集人員の各9割に相当する人員までを男女別の総合成績の順により決定した後、募集人員の1割に相当する人員を、男女合同の総合成績の順により決定し、合格候補者とする。 【実施校】（109校） ○普通科全校（コース制・単位制を除く。）（109校） ※普通科（コース制・単位制）では、男女合同の募集人員としている。								
<table><tr><td></td><td>R4入選</td><td>R3入選</td></tr><tr><td>実施校</td><td>109校</td><td>42校</td></tr></table>		R4入選	R3入選	実施校	109校	42校			
	R4入選	R3入選							
実施校	109校	42校							

(7) 学力検査を実施せず、面接、小論文又は作文及び実技検査を実施する高校（エンカレッジスクール）【全日制】 【要綱】 第2－10－2 17 ページ 別表 4 101 ページ <table><tr><td></td><td>R 4 入選</td><td>R 3 入選</td></tr><tr><td>実施校</td><td>6 校</td><td>6 校</td></tr></table>		R 4 入選	R 3 入選	実施校	6 校	6 校	エンカレッジスクールとして指定された高校においては、分割前期募集及び分割後期募集で学力検査を実施せず、面接、小論文又は作文及び実技検査を実施する。ただし、蒲田高校、足立東高校及び秋留台高校は実技検査を実施しない。また、中野工業高校及び練馬工業高校は小論文又は作文を実施しない。 【実施校】（6 校） ○普 通 科（4 校） 区部：蒲田、足立東（2 校） 市部：東村山、秋留台（2 校） ○専門学科：中野工業、練馬工業（2 校）
	R 4 入選	R 3 入選					
実施校	6 校	6 校					
(8) 学力検査を実施せず、面接及び作文を実施する高校（チャレンジスクール及びチャレンジ枠）【定時制】 東京都立高等学校チャレンジスクール入学者選抜実施要綱 第1－7 64 ページ <table><tr><td></td><td>R 4 入選</td><td>R 3 入選</td></tr><tr><td>実施校</td><td>7 校</td><td>6 校</td></tr></table>		R 4 入選	R 3 入選	実施校	7 校	6 校	チャレンジスクール及び八王子拓真高校（チャレンジ枠）においては、学力検査を実施せず、面接及び作文を実施する。 なお、自己 P R カードに代えて学校所定の志願申告書を提出する。 また、調査書の提出は必要ない。 【実施校】（7 校） ○普 通 科：八王子拓真（チャレンジ枠）（1 校） ○総合学科：六本木、大江戸、世田谷泉、稔ヶ丘、桐ヶ丘、小台橋（仮称※）（6 校） ※ 学校名については、令和3 年度第 3 回東京都議会定例会に付議するので、東京都立学校設置条例の一部を改正する条例が交付されるまでは仮称の扱いとなる。
	R 4 入選	R 3 入選					
実施校	7 校	6 校					
(9) ～ (10) 定時制単位制高校等から全日制高校への志願変更	省略						
(11) インフルエンザ等学校感染症罹患^り者等に対する追検査 【要綱】 第 6－3 31 ページ 第 7 33 ページ 別表 13 240 ページ 別表 14 255 ページ 別表 15 267 ページ 様式 27 308 ページ 様式 32 313 ページ	第一次募集において、インフルエンザ等（新型コロナウイルス感染症はこれに含む。）の学校感染症に罹患するなどし、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者に対して、志願した都立高校の受検機会を確保するため、追検査を実施する。 ＜対象校＞ ○ 第一次募集実施校（全日制148校、定時制49校） ※ 八王子拓真（チャレンジ枠）を含む。 ※ 分割募集実施校においては、追検査を実施しない。 ＜実施日程＞ ○ 分割後期募集・全日制第二次募集と同日程で実施 ＜応募資格等＞ ○ 第一次募集の検査日当日に、インフルエンザ等に罹患した者又は出席停止中の者で、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者（1教科でも受検した者は除く。）のうち、追検査の措置を申請し、当該都立高校長から承認を得た者 ＜出願方法・出願手続＞ ○ 第一次募集において、第一志望とした科（分野）又は部に限り出願することができる。 ○ 追検査に出願した者は、分割後期募集・全日制第二次募集に出願することはできない。追検査に出願した者は、志願変更はできない。 ○ 出願の際に、所定の入学願書のほか、医療機関の証明書、中学校長が出席停止の措置を行ったことについて証明する書類又は発熱があったことについて中学校長が証明する書類を提出する。 ＜学力検査等の実施＞ ○ 国語、数学、英語の3教科（共通問題）及び学力検査以外の検査（面接等各都立高校が別に定めた方法で実施） ○ 学力検査会場は、各都立高校とする。 ○ 学力検査以外の検査会場は、各都立高校が受検票により指定する。						

(12) インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追々検査 【要綱】 第 6-3 3 1 ページ 第 8 3 7 ページ 様式 27 3 0 0 ページ 様式 32 3 0 5 ページ	インフルエンザ等の学校感染症に罹患するなどし、追検査で出願した都立高校を受検することができなかった者又は分割後期募集で出願した都立高校を受検することができなかった者のうち、第一次募集又は分割前期募集の際も罹患者等であったために出願した都立高校を受検することができなかった者に対して、志願した都立高校の受検機会を確保するため、追々検査を実施する。 ＜対象校＞ ○ 第一次募集実施校（全日制 1 4 7 校、定時制 4 9 校） ※ 八王子拓真（チャレンジ枠）を含む。 ○ 分割募集実施校（全日制 2 1 校、定時制 5 校） ＜実施日程＞ ○ 定時制第二次募集と同日程で実施 ＜応募資格等＞ ○ 追検査の検査日当日に、罹患者等であった者で、追検査で出願した都立高校を受検することができなかった者又は分割後期募集で出願した都立高校を受検することができず、罹患者等であったために第一次募集又は分割前期募集で出願した都立高校も受検できなかった者。追検査の措置を申請し、当該都立高校長から承認を得る必要がある。 ＜出願方法・出願手続＞ ○ 追検査又は分割後期募集において、第一志望とした科（分野）又は部に限り出願することができる。 ○ 追々検査に出願した者は、定時制第二次募集及び全日制第三次募集に出願することはできない。 ○ 追々検査に出願した者は、志願変更をすることができない。 ○ 出願の際に、所定の入学願書のほか、医療機関の証明書、中学校長が出席停止の措置を行ったことについて証明する書類又は発熱があったことについて中学校長が証明する書類を提出する。 ＜学力検査等の実施＞ ○ 国語、数学、英語の 3 教科（共通問題）及び学力検査以外の検査（面接等各都立高校が別に定めた方法で実施） ○ 学力検査会場は、都教職員研修センター又は立川合同庁舎とする。 ○ 学力検査以外の検査会場は、各都立高校が受検票により指定する。
(13) 全日制応募資格における保護者に関する要件 【要綱】 第 2-3-2 1 0 ページ (14) ～ (15) 省略	都内中学校在学者以外の志願者について、<u>父母のどちらか一方が特別の事情により都内に志願者と同居できないときは、その理由を証明する書類等を審査の上、父又は母のどちらか一方と都内に同居する状況であっても応募を認める。「父母のどちらか一方」については 理由を証明する書類</u>等が必要となる
(16) 本人得点の開示及び学力検査における答案の開示 【要綱】 第 5 2 7 ページ 様式 19 3 0 0 ページ	受検者又は保護者は、実施要綱に基づき、受検した都立高校長に対して、学力検査等得点表及び学力検査における答案の開示を請求することができる。なお、実施要綱に基づく開示請求受付期間を次のとおりとする。 ＜不合格者＞ 受付開始日：当該募集の入学手続締切日の翌日 ※ 推薦に基づく選抜は、第一次募集・分割前期募集の入学手続締切日の翌日 受付終了日：<u>令和 4 年 8 月 3 1 日（水）</u> ＜合格者＞ 受付開始日：<u>令和 4 年 5 月 2 日（月）</u> 受付終了日：<u>令和 4 年 8 月 3 1 日（水）</u>
◇募集を開始する高校 ◇募集を停止する高校 ※令和 3 年 10 月頃に正式決定	【定時制課程（1 校）】 小台橋高校（仮称、チャレンジスクール） 【全日制課程（2 校）】 両国高校、大泉高校（普通科）白鷗は 5 年度から

★男女別定員制の緩和 来年度入試から男女緩和制度を徐々に弛め合同定員制へ踏み出す。

下図のように 3 段階を予定しているが、男女の合格ラインが異なる学校では徐々に男子の不合格者が増え、合格者数に占める女子の割合が高まることが予想される。とくに推薦選抜での実施では女子の大幅な増加がありそうだ。右図では今春と合同実施後(一般のみ予測)の合格者の女子の割合を示した。

	ホップ	→ ステップ	→ ジャンプ
一般	全校 1割緩和	全校 2割緩和	全校 合同定員制
推薦	男女別 定員制	男女別 定員制	全校 合同定員制

- 女子の合格者が増え、男子が減る
→女子多数校の増加

今春 杉並総合...83%(推薦93%,一般78%)
 国際...80%(98%,72%),千早...79%(91%,74%)
 飛鳥...70%(94%,64%),墨田川...60%(77%,55%)
 新宿...53%(75%,51%),国分寺...53%(66%,49%)
 科学技術...19%(33%,9%),三田...53%(48%,54%)

推計

合同 三田...(一般73%)、広尾、本所...(68%)
 青山、竹早、小岩...(64%)、目黒、井草...(63%)

関連資料② 「東京都立高等学校入学者選抜における男女別定員から男女合同定員への移行について」

★英語スピーキングテストの実施と不公平な配点 令和 5 年度入試から英語スピーキングテストの実施が決まっている。今回、テストの評価を学力検査、調査書とは別に 20 点満点(ESAT-J)を加え、合計して総合得点とすることが明らかになった(関連資料③)。平成 4 年度都立高等学校入学者選抜検討委員会では、5 教科の配点バランスを崩すこの形に十分な議論があったとはいえません(関連資料④)。諸兄のご意見をお寄せください。

(3) 総合得点への加算

都立高等学校では、学力検査の得点と調査書の合計(1000点満点)にESAT-Jの点数を加え、総合得点を算出する。

【第一次募集・分割前期募集】

学力検査の得点 7 : 3

500点

100点×5教科

700点(換算後)

調査書点

65点

(5教科×5)+(4教科×5×2)

300点(換算後)

ESAT-J 結果

20点

調査書に記載

700点(換算後) + 300点(換算後) + 20点 = 1020点

【分割後期募集・第二次募集】

学力検査の得点 6 : 4

600点(換算後)

調査書点

400点(換算後)

600点(換算後) + 400点(換算後) + 20点 = 1020点

ESAT-J 不受験者の扱い

ESAT-Jを受験しなかった生徒も、東京都立高等学校入学者選抜において不利にならないように取り扱う。

↓

当該不受験者の学力検査の英語の得点から、仮の「ESAT-Jの結果」を求め、総合得点に加算する。

関連資料③ 「東京都中学校英語スピーキングテスト事業について」 PDF ファイル

関連資料④ 令和4年度東京都立高等学校入学者選抜検討委員会報告書 p19～21 word ファイル

項目	概要
(2) 学力検査に基づく選抜の改善	＜東京都中学校英語スピーキングテスト(E SAT-J)結果の活用＞ 保護者、受検者、中学校側、高等学校側に趣旨等をしっかりと説明し、理解を得る努力を続けるとともに、得点化の方法等入学者選抜への具体的反映方法について更に検討するほか、不受験者への対応の詳細などについても、検討を進める。

令和4年度東京都立高等学校入学者選抜検討委員会報告書 p19～21

3 英語スピーキングテスト結果の活用

都立高校入学者選抜において、平成9年度選抜から英語リスニングテストを導入しているが、現在でも「話すこと」の能力を測るテストは導入していない。そのため、平成28年度の東京都英語教育戦略会議では、「今後は、都立高校入試においても、『話すこと』を含めた4技能を測る入試の実施方法の工夫について前向きに検討すべきである。」とし、平成29年度の東京都立高等学校入学者選抜英語検査改善検討委員会では、「都立高等学校入学者選抜では、義務教育の最終段階として、学習指導要領で求められている力が身に付いているかを測る必要がある。受検者にとっても、都立高等学校入学者選抜において、これまでの学習成果が評価されることは、重要な意義がある。そのために、英語検査においては、『聞くこと』『話すこと』『読むこと』『書くこと』の4技能の評価を行うべきである。」と報告した。

この報告を踏まえ、平成30年度には、都立高等学校入学者選抜における英語の「話すこと」の技能の評価等に係る具体的内容について検討するため、「英語『話すこと』の評価に関する検討委員会」を設置し、英語スピーキングテストの内容及び実施方法、導入までの長期計画・導入規模、民間事業者との連携方法等の具体的方法について検討を行った。続いて、令和3年度東京都立高等学校入学者選抜検討委員会（令和2年度実施）では、特別部会を設置し、英語スピーキングテスト結果を活用するための課題や具体的な取組の方向性について検討し、その検討結果を令和3年度入学者選抜検討委員会臨時会にて報告した。

本委員会では、令和3年度東京都立高等学校入学者選抜検討委員会臨時会において審議した英語スピーキングテスト結果の活用等の内容について検討し、実施に向けた検討を行った。

なお、英語スピーキングテストは令和3年4月1日から「E SAT-J」という名称としており、以下「E SAT-J」と表記する。

E SAT-J : English Speaking Achievement Test for Junior high school students

ア E SAT-J 結果の活用

㊦ E SAT-J 結果の得点配分

E SAT-J 結果は20点満点とし、学力検査と切り離して調査書に記載し、総合得点に加える。

イ 委員からの主な意見

○ 外部有識者

- ・新しい入学者選抜の形として受検者や保護者に納得してもらうには、丁寧な説明が求められる。
- ・英語の学力に自信のない受検者にとっては、英語の得点割合が大きくなることで不利になると考え、私学に受検者が流れてしまうことを懸念する。
- ・事前に中学校や高校へのアンケート調査を行い、その結果を踏まえた協議が必要である。英語教育重視について説明してきたと言えるのであれば分かるが、英語が他教科よりも突出している内容が急に出来たと受け取られることを心配している。

○ 中学校

- ・英語においては4技能の能力を測られるべきところを3技能のみでしか測られてこなかったという経緯があるため、将来的には4技能の検査を学力検査と同じような形式で、それも同一日に検査を実施することが理想ではあるが、現状では不可能である。したがって、これまで検討を重ねてきたこの提案の形をまずは支持したい。
- ・ESAT-Jが20点分となると、他の教科と比べて英語の配点が高くなり、教科間のバランスが崩れる大きな変更である。
- ・入学者選抜に活用するため、調査書に記載されるものであると受検者や保護者に伝えたときに、受検が11月から始まるという受取り方になってしまうことを懸念する。
- ・入学者選抜への活用に重点が置かれた場合、ESAT-Jの結果を用いて授業改善に役立てるという本来の目的が達成できないのではないかと。

○ 高等学校

- ・諸活動の欄に記載することについて、生徒、保護者に丁寧に説明しなければならない。英語が不得意な生徒やその保護者にとっては、ESAT-Jの結果が調査書に記載されることについては抵抗感があると思われる。

事務局が示した調査書の記載箇所の案

